



RI 第2640地区

有田2000 ロータリークラブ



No. 941
Club Bulletin

会長 川島信治
幹事 浦崎寿光
クラブ会報委員長 樋口 明

疾病予防と治療月間

四つのテスト 言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

例会日/毎週水曜日 19:00
 事務局・例会場/〒643-0025
 有田郡有田川町土生409
 吉備インターゴルフセンター
 TEL0737-52-8960
 FAX0737-22-6800
 E-mail: info@arida2000rotary.club
 URL: http://arida2000rotary.club/

本日のプログラム
 令和2年12月19日 第942回

クリスマス例会 ナチュラルガーデン

次回のプログラム

- 12月26日 定款による休会
- 1月6日 利き酒会 平松一彦君
- 1月13日 細則による休会
- 1月20日 有田川町役場

前回の報告 (第941例会)

開催日 令和2年12月16日(水)

開会点鐘 川島会長

ソング 「手に手つないで」

ゲスト 地区職業奉仕委員会

委員長 角谷 浩二様

●川島会長の時間●

皆様こんばんは。

本日のゲストは地区職業奉仕委員会委員長の角谷浩二様です。角谷様には大変お忙しい中、また遠いところをお越し頂きまして誠にありがとうございます。

角谷様は2640地区においてリーダー的な存在でございます。過去に3回程、当クラブで青少年RYLAについて卓話をして頂いています。後ほどロータリーにおける職業奉仕についてお話し頂きます。

さて、12月も半ばを過ぎて、今週初めから朝晩の冷え込みも厳しさを増してきました。この例会



場で行う例会もこれで今年最後となります。

この半年を振り返りますと、7月1日に本年度の初例会を行い会長、幹事の引継ぎの後運営方針の発表をさせて頂きました。また森さんの入会式を行いました。8日には委員会活動計画の発表。22日には森さんの歓迎会と決算・予算審議を橋家さんで行いました。その場で新型コロナウイルス感染防止のための8月からの例会の臨時休会を決議しました。

9月の例会も同様に臨時休会をする事になりました。10月からは通常通りの例会を行いました。

11月11日には藤井ガバナーによる公式訪問がありました。

また11月20日には吉水前会長が亡くなるという大変悲しい出来事がありました。また辻本さんが事故に遭われて現在重篤な状態であるという事で大変心配しています。元気に回復される事を願います。

2021年は新型コロナも収束してクラブにとって、また皆様方にとってより良い一年になるようにお祈りして会長の時間とします。

●幹事報告●

大浦輝彦君 (代行)

・第2640地区ローターアクトより

第33回ローターアクト研修会ご登録に際しての



ご案内

2021年3月14日（日）14：30～19：00テーマ
「RACラマチ、たごまる。」オンライン開催
2、新入会員について

「先日の臨時例会にて加納恒儀君（かのうつねのり）が入会することになりました。本日例会翌日にハガキを事務局から送ります。異議のある方は、一週間以内に申し出て下さい。」
・例会変更はホワイトボードに掲示

●委員会報告●

会員増強委員会
芝毅君（代行）
12月9日臨時理事会にて新入会員として加納恒儀君が入会することになりました。入会申込書（回覧）



●ニコニコ箱●

川島信治君：地区職業奉仕委員長 角谷浩二様
本日はお越し頂き有難うございます。
森誠君：地区職業奉仕委員長 角谷浩二様 本日は宜しくお願ひ致します。
前任君：地区職業奉仕委員長 角谷様 お忙しい中、有難うございます。

●出席報告●

梅本茂喜君



	会員数	出席者数	出席率
本日の出席	17名	10名	58.82%
7月～平均	18名	14.8名	82%



●卓話●

職業奉仕と社会奉仕
2640地区職業奉仕委員会
つのや こうじ
角谷 浩二様

卓話にお招きいただきありがとうございました。

職業奉仕 (Vocational Service) と社会奉仕

(Community Service) は同じ「Service」という英語を使い、それを両方とも「奉仕」と訳しているがために大きな誤解が生じるのです。

「Service」という英語は奉仕の他に接客、修理、値引き等色々な訳があります。ロータリーにおけるServiceは誰がその「受益者」であるかによって意味が違ってまいります。社会奉仕 Community Serviceの受益者は「他人」であり Vocational Serviceの受益者は「自分」であります。ですから、奉仕 (Service) の意味が違いますから職業奉仕は「職業サービス」という言葉に変える方が解りやすいのではないかと思います。

職業奉仕は、ロータリー初期目的の互惠取引の廃止に伴いその代替え案として誕生し、アーサー・フレデリック・シェルドンによって唱えられた言葉 (1911年) であります。He Profits Most Who Serves Vest 「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」この言葉は職業奉仕のモットー (標語) であります。しかし、Servesを奉仕と訳したがために社会奉仕の奉仕と混同し社会奉仕のイメージが強く感じられます。この言葉の即物的な解釈として「職業倫理に徹する者は、最大の利益を得る」と考えた方が解りやすいのではないかと思います。

職業奉仕 (職業サービス) の目的はロータリアンの職業倫理の追求です。職業倫理の実践 (4つのテスト) によって生まれた利益によって、家族や従業員を養い、その余ったお金の一部を奉仕に使い、その人間の職業時間の余暇を使ってボランティア活動をする。ロータリーは奉仕に使うお金やその人間にも「倫理」を求めているのです。ロータリーは職業奉仕 (職業サービス) を基礎とし、この基礎の上に社会奉仕や他の奉仕活動が上に乗っている。これが「ロータリー」であります。



閉会点鐘 川島会長

